回復期リハビリテーション病棟指数

当院の回復期リハビリテーション病棟入院料算定病棟における退院患者に基づく各数値は、以下のようになっています。

●回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟入院料〔Ⅰ〕 4S・5階・6階病棟

入院患者の構成	算出期間	令和７年４月１日～6月30日
	退院患者数	148名
	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後（再掲）	105名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態（再掲）	31名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態（再掲）	12名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態（再掲）	0名
	股関節又は膝関節の置換術後の状態（再掲）	0名
	その他	0名

●退院患者の実績指数※

（令和７年１月１日～令和７年６月30日 退院患者分）

57.27

※）実績指数とは、退院時の「運動機能の改善度」を表す数字のこと。
退院患者の実績指数が大きい程、「回復度が高かった」ことを意味します。
当該病棟では、実績指数について「40」以上を保つこととされています。
回復期リハビリテーション病棟協会調査における中央値は「48程度」